

天王寺駅(JR環状線ほか各線)①

幸村戦没地と芭蕉ゆかりの浮瀬跡へ

天王寺駅(地下鉄御堂筋線・谷町線) 天王寺駅前駅(阪堺電車土町線)
大阪阿部野橋駅(近鉄南大阪線) 四天王寺前夕陽ヶ丘駅(地下鉄谷町線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.030



JR・地下鉄天王寺駅

駅名の由来は四天王寺の略称から来ています。「近畿の駅百選」に選ばれていて、1日の平均乗車人員は約14万人(2008年度調査)で、これはJR西日本の駅では第3位です。

①天王寺公園

明治36年(1903)に天王寺界隈で第5回内国勧業博覧会が開催されて、5カ月の期間中に約540万人以上の観光客が集まりました。その後、会場跡地西側を「新世界」に、東側を「天王寺公園」として整備しました。現在でも大阪を代表する都市公園です。

②一心寺

文治元年(1185)に法然上人が草庵を開いたのが寺のはじまりで、後白河法皇も訪れて、法然上人とともに夕陽を拜む「日想観」を修したといわれています。お骨仏が有名ですが、建築家でもある現住職・高口恭行氏の設計による斬新な山門や仁王像のほか、一心寺シアター倶楽の活動でも知られています。

③安居神社(真田幸村戦没地)

大坂夏の陣で討ち死にした真田幸村の戦没地です。毎年、命日の5月7日付近の休日には慰霊のための「幸村まつり」が行われて、幸村の故郷の長野県上田市の関係者や、日本全国から幸村ファンが訪れます。

④清水寺(玉出の滝、清水の舞台)

寛永17年(1640)に京都東山の清水寺を勧請して建てられたといわれています。大阪市内で唯一の滝「玉出の滝」や「清水の舞台」もあります。また清水寺付近は伶人

町といって、天王寺舞楽を演じる楽人(伶人)が住んでいた土地で、国歌「君が代」の作曲者・林廣守の出身地です。



⑤浮瀬跡(大阪星光学院)

『摂津名所図会』にも描かれた浪花一の料亭「浮瀬」跡で、与謝蕪村、十返舎一九、シーボルトなどが訪れています。元禄7年(1694)9月26日には俳聖・松尾芭蕉が訪れて「此路を行人なしに秋の暮れ」「此秋は何で年よる雲に鳥」と詠んでいます。浮瀬の句会の半月後に芭蕉は南御堂で急死したので、ここが芭蕉絶唱の地となりました。

▼見学の際は大阪星光学院に電

話予約が必要。(TEL06-6771-0737)

⑥愛染堂

創建推古元年(593)。聖徳太子が開いた四天王寺施薬院が発祥です。愛染明王は恋愛、縁結び、家庭円満を司って、文字通り、男女の仲を愛に染めてくれます。毎年6月晦日に行われる「愛染まつり」は大阪の夏祭りのはじめで、愛染娘の宝恵篤駕行列は一見の価値があります。また多宝塔(1597年に豊臣秀吉が再建)は大阪市内最古の木造建築物で国指定重要文化財です。



▼地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘駅

